

笑顔で100歳を迎える

大川ユキノさん100歳顕彰

グループホーム宝森で1月5日(木)、大川ユキノさんの100歳を祝う顕彰が行われ、親族10人がかけつけお祝いしました。

小野町長から「100歳おめでとうございます。とても元気で驚いた。」

120歳どころか130歳まで長生きしてくれそうだと顕彰状と祝い金を手渡されました。

大川さんは「ここまで長生きできたのも皆さんのおかげです。どうもありがとうございます」と元

気よく答えていました。

大川さんは、大正6年に旧武田村に生まれ、昭和11年に大川正勝さんに嫁ぎました。若いときは農作業や出稼ぎをしていました。また、裁縫が好きで、よく編み物を作つてあげていました。

現在は、利用者みなさんと、よくドップで遊んでいるそうです。記憶力も抜群で、職員の名前などを間違ふことなく呼んでいます。次男の義勝さん(大沢内)は「長生きしてくれてありがたい。これからも病気などもなく元気でいて欲しい」と話していました。



新たな目標に向かって

中里高校で新年立志会

新しい年にあたり、1年の決意を新たにしようと、1月13日(金)中里高等学校で新年立志会が行われました。

全校生徒が参加した立志会では、各学年から2人ずつ代表して今年の決意表明をしました。勉強や部活、進学した先での目標を発表すると、生徒からは大きな拍手があがっていました。

その後、全校で餅つき会を行いました。慣れ



ない杵にふらつきながらも力強くついていました。できあがったお餅は、お雑煮に入れたり、きなこにつけたりしてつきたてを味わいました。参加した生徒たちは「今年も新しい目標に向かって努力していきたい。餅つきは大変だったけど楽しかった。お餅おかわりしてきます」と笑顔で話していました。



1月13日(金) 中里高校でピユアの
前田晴香さんと小山内和美さんか
ら、接客やセレクトギフトボック
スの包装の仕方を教わりました。

接客の基本となる挨拶やお辞儀
は、教わったことを気をつけなが
ら試してみると、意外と難しいと
感じました。包装はとても難しく
手伝ってもらいながらゆっくりと
進めました。折り目がきれいにい
かず、何度かやり直したりしまし
た。たくさん練習して、きれいに
包装できるようにになりたいと思
いました。



真剣な表情で作業する生徒たち



包装に大苦戦



接客の基本を学びました



笑顔で接客できました

1月14日(土)、15日(日) 青森市のア
スパムで開催された「うまい森青
いもりフェア」に参加しました。
フェアには鱈ヶ沢高校SBPや
木造高校深浦校舎SBPも参加し
3校連携のギフトボックスの販売
などをしました。
13日に教わった挨拶を意識しな
がら接客できました。直接販売す
る機会は貴重なので、機会があれ
ばまた参加したいと思いました。

寒さに負けずに走り初め

元旦マラソン

新年最初のイベントである恒例のマラソン大会が、元旦に体育センター前で行われました。開会では小野町長が「明けましておめでとうございます。今日は新年のスタート。ケガのないよう頑張ってください」とあいさつしました。この日は曇りとなりましたが、道路には雪が少なく走りやすい環境となりました。参加した約100人の選手たちは、体育センターから津軽中里駅までの往復約2kmをそれぞれのペースで走りました。

参加者は「今年も元日から気持ちのいい汗をかくことができた。来年も参加出来るように健康に過ごしたい」と話していました。

